



ブロックチェーン

ビットコインなど仮想通貨を支える技術のエネルギー分野への応用を検討しています。

背景・目的

- 海外を中心に、ブロックチェーン技術を活用してエネルギーの個人間取引についての実証実験が行われています。当社でも、ブロックチェーン技術への理解を深めるための概念検証や、将来のビジネスモデルについて検討を始めています。



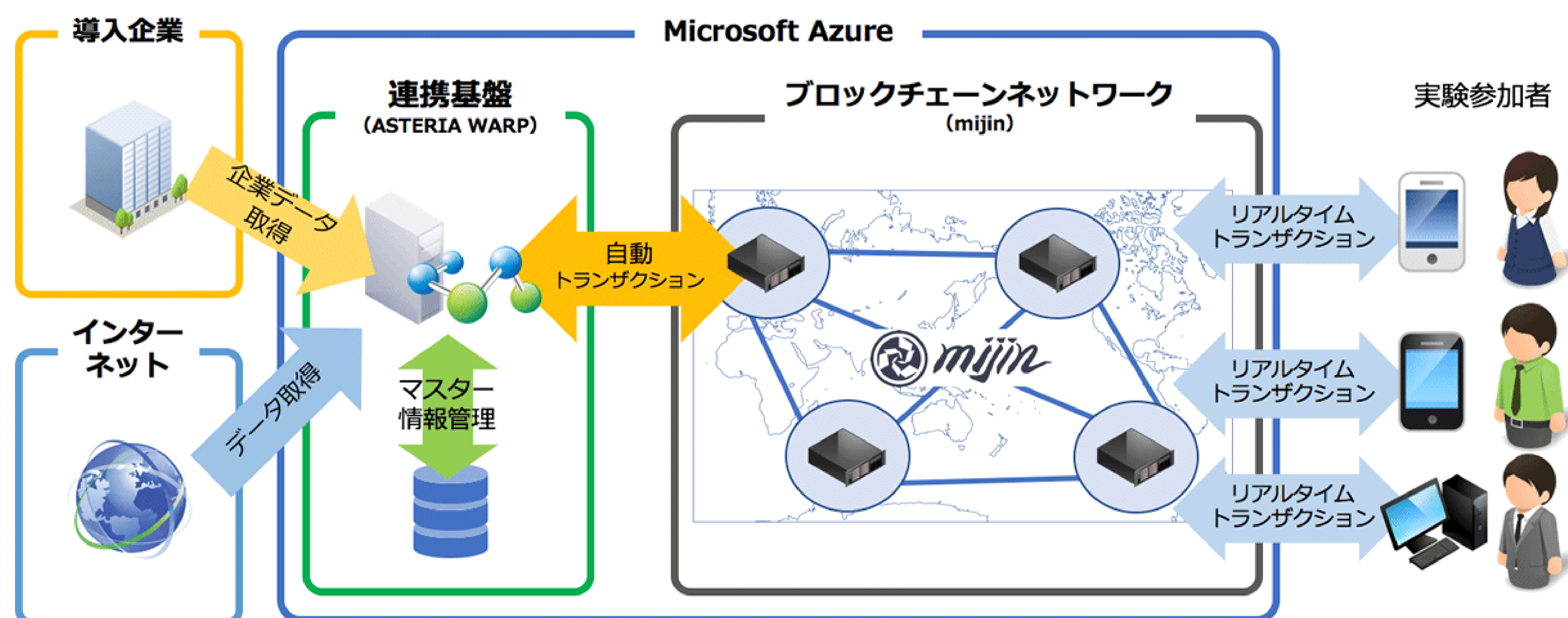
海外実証実験のイメージ(出典:FAST COMPANY HP)

特長

- ブロックチェーンとのデータ連携基盤:「ASTERIA WARP」(インフォテリア株式会社)
- ブロックチェーン:プライベートブロックチェーン製品「mijin」(テックビューロ株式会社)

用途

- ブロックチェーンを用いることで、権利・ポイント・設備などの資産を簡単に取引・管理できることから、様々なサービスに応用できると考えています。
- 家庭の太陽光発電余剰電力を、別の家庭と直接個人間取引(ブルックリン・マイクログリッド)
- 各家庭のスマートメータデータを監視し、節電要請に応じて遠隔制御(会津ラボ+エナリス)
- 自然エネルギーの電力を証券化し、市場にて取引(ナスダック)



当社概念検証のイメージ(出典:インフォテリアHP)

開発者のひとこと

(実証参加者より) ブロックチェーンの仕組みを理解でき、当社の業務効率化やお客さま向けのサービス・ビジネスの新たなビジネスモデルについて検討を継続していきたいと思えます。